



光 和

7月号
練馬区立光和小学校
令和6年6月28日

光和小
携帯サイト



みんなはひとりのために ひとりはみんなのために

校長 矢島 直行

先日行われました本年度最初の学校公開には、大勢の方にご参観をいただきありがとうございました。4月に入学、進級した子供たちの成長した姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。3年生の学年コーナーに、

3年生のテーマ

みんなはひとりのために ひとりはみんなのために 「ともだちはいいもんだ」よりが掲示されています。新年度がスタートしたとき、子供たちに話し、学年目標として取り組んでいます。「みんなはひとりのために ひとりはみんなのために」は、教育活動のいろいろな場面で見ることができます。

先日6年生は、練馬文化センターで劇団四季ミュージカル「ガンバの大冒険」を観劇しました。普段はドラマなどをテレビの画面を通して見ることが多いです。今回、舞台の役者の演技を生で見ることにより、セリフや動きが直接伝わってきました。映像では味わうことができない迫力に圧倒されました。ミュージカルは一人で演じることはできません。演技をしている役者の気持ちが一つになって、役者の方々の見事なまでにそろった振り付けに大いに感動しました。一方、一人での動きやセリフの言い方など、演技もそれぞれの役者に個性があり味があります。一人一人のセリフや演技にも私たちは舞台に引き込まれていきます。役者個々の演技と、互いの力が合わさったときの素晴らしさに感動しました。

また、6年生は軽井沢移動教室がありました。移動教室は、3日間の集団生活となります。子供たちは班長やレク係や食事係など、一人一人が係の仕事を負い全体を考えながら責任をもって取り組みました。キャンプファイヤーや体育館レクでは、互いに協力しながらクラス、学年が一体となって盛り上がりました。それぞれの活動から、組織の一員として責任をもつことと互いに協力し合うことの大切さを学ぶことができました。

学校は学習をはじめ、遠足やクラブ活動、委員会活動など、様々な教育活動があります。子供たちは、考え方や得意なこと、性格など、それぞれ違います。そのような子供たちが互いに学び合い高め合うことにより、考え方が広がったり理解を深めたりすることができます。友達の発表を聞いて学ぶことができ、友達と一緒に遊ぶことで仲よくなります。誰もが自分の学級が協力し合い仲のよいクラスや学年になることを願っています。そのためには、まず、自分自身が頑張ることはもちろん大切です。そして、一人一人が友達の気持ちを思いやり、自分だけではなく全体のことを考えながら行動することが大切です。「みんなはひとりのために ひとりはみんなのために」

早いもので1学期もあと3週間となりました。これまでの教育活動を通して子供たちは成長しました。これからも子供たち一人一人のよさを生かしながら、クラスや学年、そして、光和小学校がさらによりよく発展していけるように努めてまいります。